

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒101-8441  
 住 所 東京都千代田区神田錦町1-25  
 氏 名 日清ペットフード株式会社  
 代表取締役社長 田中 秀邦  
 (代理人) 池田 克之  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名又は名称	日清ペットフード株式会社		
主たる事務所又は事業所の所在地	川崎市 川崎区大川町3-1		
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業の種類	大分類	E	製造業
	中分類	10	飲料・たばこ・飼料製造業
主たる事業の内容	ペットフードの製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,942	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>

## (第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の環境基本方針については、ホームページにて公表しています。 <a href="http://www.nisshin-pet.co.jp/company/environment.html">http://www.nisshin-pet.co.jp/company/environment.html</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策計画

#### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

##### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

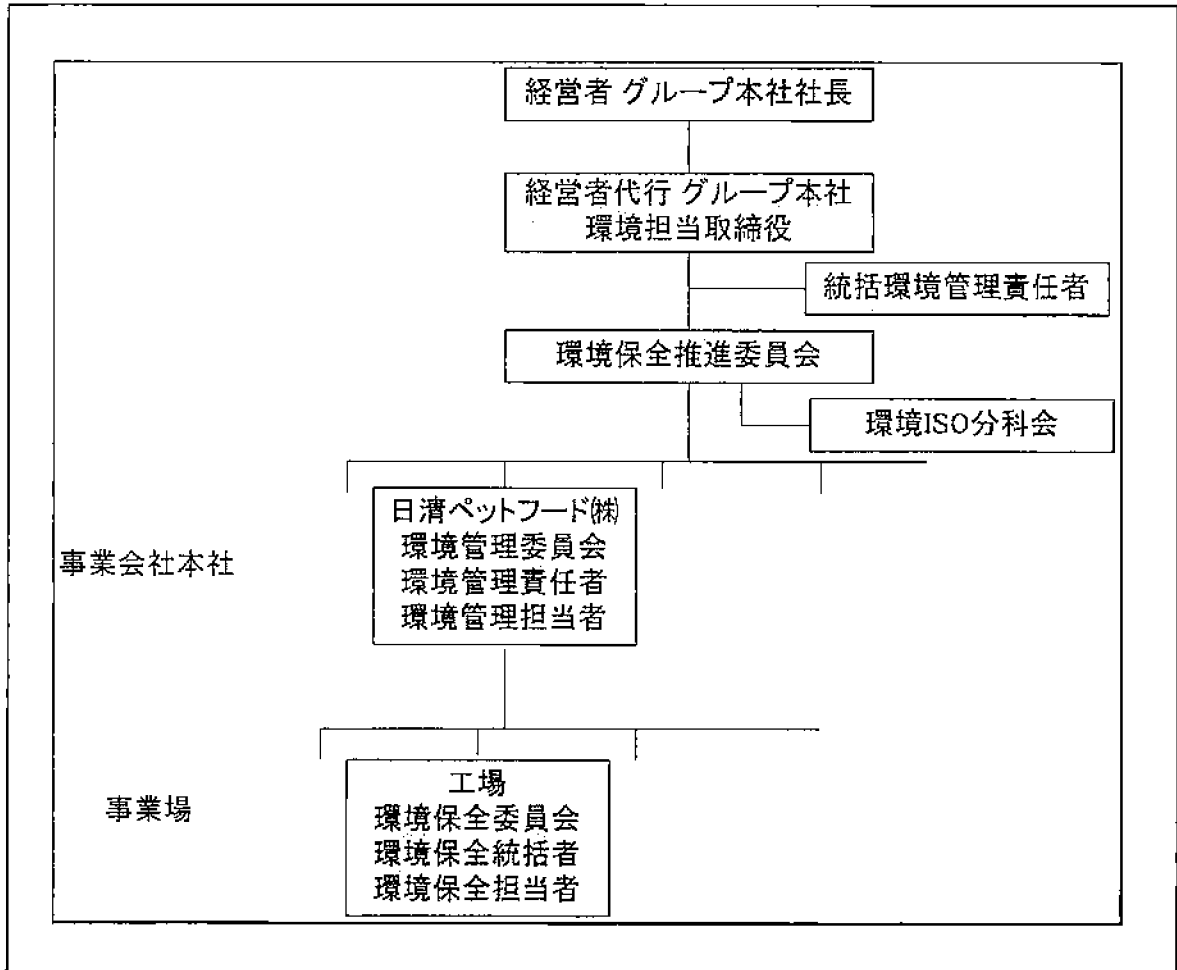
###### 1. 事業者全体基本方針

日清製粉グループとして下記の環境基本方針により、積極的な地球温暖化対策を進めている。地球環境保全は、人類の生存と発展のための社会全体の課題であり、その社会の一員として事業を営む企業にとって、最重要の経営課題です。日清製粉グループは、「信を万事の本と為す」と「時代への適合」を経営の基本理念とし、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」を使命として、当社が地球社会の一員であることの認識を持ち、地球規模での環境保全を図りながら自由で活力ある企業活動を目指します。

##### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

日清製粉グループの排出量削減計画に基づき、ISO14001マネジメントシステムを構築し下記を基本方針に掲げ削減活動を進めている。  
 「一人ひとりが自覚を持ち、地球環境の改善に努める」  
 ①環境マネジメントプログラム策定。  
 ②環境負荷の低減活動及び環境研修を開催。  
 ③環境マネージメントレビュー報告、省エネ委員会（1回/月）を開催し実績を確認し共有する。  
 ④環境管理体制の整備。

#### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2018				年度
目 標 年 度		2021				年度
基 準 排 出 量	(実)	5,646		(実)		
	(調)	5,552	t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
目 標 排 出 量	(実)	5,477		(実)		
	(調)	5,385	t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
削 減 量	(実)	169	t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	169 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
削 減 率	(実)	3.0	%	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		生産量			
原 単 位 の 単 位		t-GO2/ t			
基 準 年 度 の 値		0.1389			
目 標 年 度 の 値		0.1347			
削 減 率		3.0 %		%	

ウ 目標設定に関する説明

<ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガスの排出量と生産量当たりの排出量を年平均1%削減する事を前提に目標を設定した。</li> <li>・設備面では高効率モーターや高効率変圧器へ順次更新し、老朽化した空調機を省エネ型に順次更新する。</li> <li>・小集団活動や提案活動を活用し生産歩留まりを改善する事で半製品の原料戻しを削減し、温室効果ガス排出量の更なる削減を図る。</li> </ul>
---

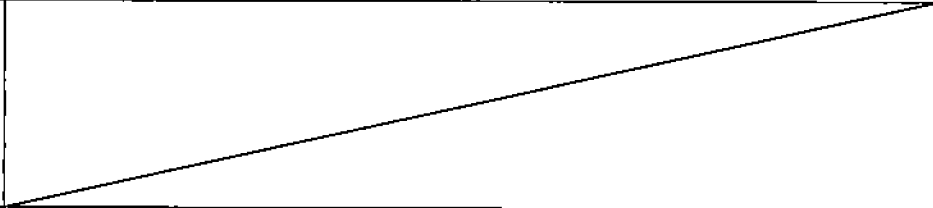
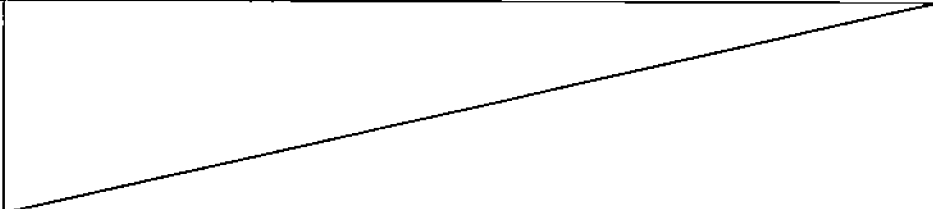
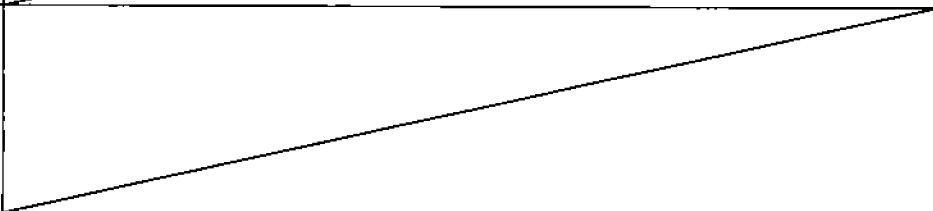
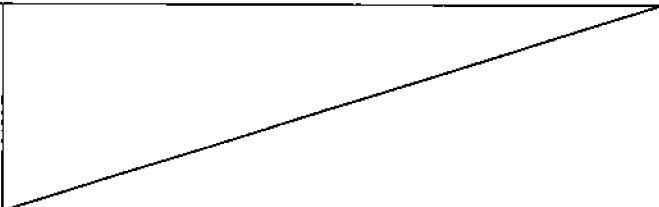
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

<p>日清製粉グループで、2030年度までに2013年度比で▲26%削減することを目標としている。</p>
---

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○推進体制                  当事業場では、グループ内の他事業場である日清製粉(株)、日清サイロ(株)と「ISO14001」を共同で推進しており、引続き事業場内省エネ活動の啓蒙に取り組む。                  (1) ISO14001 従業員教育を実施する。(地球温暖化・3R・川崎市一般廃棄物処理基本計画、法と規制)                  (2) 外部機関(外部専門家)を利用しエネルギー漏れ診断を受診する。                  (3) 省エネタイプの設備更新。(モーター、エアコン、変圧器、LED化)                  (4) 電力原単位削減、ガス原単位削減を含む削減目標を掲げ、省エネ委員会・小集団活動・提案活動を活性化させ環境保全活動に取り組む。                  (5) 蒸気配管の保温材取り付け、エネルギー漏れ補修。                  (6) 生産ラインの効率改善による運転時間の削減。                  (7) 付帯設備の定期清掃の確立。(ダクト配管、搬送コンペアーの能力低下抑制、フィルタ交換も含む)</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p>省エネルギー設備の導入については、基準年度以前から積極的に取組みを行っている。具体的改善例を下記に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備更新による生産効率を改善</li> <li>・高効率モーターへの更新</li> <li>・LED照明への更新、人感センサー照明に変更</li> <li>・粉砕機能力の適正化</li> <li>・設備整備点検の強化及びエネルギー漏れ補修を実施</li> <li>・空調温度設定、節電、昼食の食べきりを実施</li> <li>・提案委員会の推進(環境に関する提案件数の増加)</li> </ul>
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	工場事務所において再生可能エネルギーの使用を検討する
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他( )		
その他( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電	規模：4kW 導入場所：工場事務所	未定

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他( )	
EV、PHV、FCV	×	その他( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	無し
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る（買い物時マイバックの推進）</li> <li>2. 取得済みISO14001活動に一環として、環境に関する教育を実施</li> <li>3. 運搬業者等に対するエコドライブ実施の協力要請</li> <li>4. グリーン購入と3Rの推進を行う</li> <li>5. 生ごみの3切り運動の推進</li> <li>6. 自宅での省エネ（エアコン設定、電気消灯）</li> </ol>
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	5,646	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,942	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1
---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
日清ペットフード(株) 鶴見工場	川崎市川崎区大川町3-1	5,646 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>